

Mirroring Memories

ミラーリングメモリーズ

Fratres I

フラトレスワン

Mirroring Memories

—それは尊き光のごとく

演出振付：金森穂

出演：Noism1+金森穂

新作 Fratres I

*fratres=親族、兄弟、同士

演出振付：金森穂

音楽：アルヴォ・ペルト《Fratres for strings and percussion》

出演：Noism1

新潟公演

2019年7月19日[金]—7月21日[日]

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館〈劇場〉

東京公演

2019年7月26日[金]—7月28日[日]

めぐろパーシモンホール〈大ホール〉





*毎日芸術賞受賞作品

『Mirroring Memories —それは尊き光のごとく』*新湯初演

演出振付: 金森穰 照明デザイン: 伊藤雅一 (RYU)、金森穰 映像: 遠藤龍

出演: 井関佐和子、池ヶ谷奏、浅海侑加、チャン・シャンユー、ジョフォア・ポプラウスキー、井本星那、林田海里、カイトミオカ、チャーリー・リャン、西岡ひなの、鳥羽絢美、西澤真耶 + 金森穰

*Noism 設立15周年記念作品

『Fratres I』(新作) *fratres = 親族、兄弟、同士

演出振付: 金森穰 音楽: アルヴォ・ペルト《Fratres for strings and percussion》

衣裳: 堂本教子 照明デザイン: 伊藤雅一 (RYU)、金森穰

出演: 井関佐和子、池ヶ谷奏、浅海侑加、チャン・シャンユー、ジョフォア・ポプラウスキー、井本星那、林田海里、カイトミオカ、チャーリー・リャン、西岡ひなの、鳥羽絢美、西澤真耶、片山夏波*、三好綾音*

(*準メンバー)

◎新潟公演

2019年7月19日[金]19:00、20日[土]17:00、
21日[日]15:00 *全3回

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館(劇場)

入場料: S席4,000円 A席3,000円/

U25 S席3,200円 A席2,400円(全席指定)

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館

〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3-2



◎東京公演

2019年7月26日[金]19:00、27日[土]17:00、
28日[日]15:00 *全3回

めぐろパーシモンホール(大ホール)

入場料: 5,500円/U25 3,500円(全席指定)

めぐろパーシモンホール

〒152-0023 東京都目黒区八雲1-1-1

東急東横線「都立大学」駅より徒歩7分



[チケット発売日]

新潟公演:

N-PACmate(友の会)先行 5月17日[金]

一般 5月19日[日]

東京公演:

一律 5月19日[日]



[チケット取扱い]

・りゅーとぴあ(窓口・電話・オンライン)

チケット専用ダイヤル

025-224-5521 (11:00-19:00、休館日除く)

オンライン・チケット

<http://www.ryutopia.or.jp/>

・イープラス <http://eplus.jp> (PC・MB 共通)

・めぐろパーシモンホールチケットセンター(東京公演のみ)

電話/窓口 03-5701-2904 (10:00-19:00)

WEB <https://www.persimmon.or.jp>

*U25(25歳以下)は入場時に身分証をご提示ください。

*未就学児の入場はご遠慮いただいております。

*開演時間を過ぎますと、演出上の都合によりご入場を制限させていただきます。予めご了承ください。

*託児サービス、車イス席等の詳細はNoismのウェブサイトまたは各劇場のHPをご覧ください。東京公演は託児サービスがございません。

主催: 公益財団法人新潟市民芸術文化振興財団

共催: 公益財団法人目黒区芸術文化振興財団(東京公演)

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

製作: りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館

official web site: www.noism.jp



◎Mirroring Memories —それは尊き光のごとく

00 『Distant Memory』(2018年)

01 『Nameless Hands —人形の家』より「彼と彼女」(2008年)

02 『Nameless Poison —黒衣の僧』より「病んだ医者と貞操な娼婦」(2009年)

03 劇的舞踊『ホフマン物語』より「アントニアの病」(2010年)

04 『Psychic 3.11』より「Contrapunctus」(2011年)

05 『Nameless Voice』より「シーン9 —家族」(2012年)

06 劇的舞踊『カルメン』より「ミカエラの孤独」(2014年)

07 『ASU』より「生贄」(2014年)

08 劇的舞踊『ラ・バヤデール —幻の国』より「ミランの幻影」(2016年)

09 『ZAZA』より「群れ」(2013年)

10 『マッチ売りの話』より「拭えぬ原罪」(2017年)

11 『Träume —それは尊き光のごとく』(2018年)

日本初の公共劇場専属舞踊団Noism、15周年記念公演!

日本初の公共劇場専属舞踊団として、2004年にりゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館で誕生したNoism。芸術監督の金森穰のもと、りゅーとぴあで創った作品を国内外で上演し、新潟から世界へ向けて活動しています。今年は設立15周年記念公演としてNoism1による『Mirroring Memories —それは尊き光のごとく』、新作『Fratres I』を上演します。『Mirroring Memories』は、バレエでもモダンでもコンテンポラリーでも演劇でもない、独自の舞台を生み出すこと、すなわち「no·ism(無主義)」の活動を続けるなかで創作してきた作品から、黒衣にまつわる10のシーンを抜粋し、金森自身が出演する2作



Photo: Kishin Shinoyama

金森穰

(りゅーとぴあ舞踊部門芸術監督/Noism芸術監督)

品を加えて新解釈で構成したオムニバス作品。〈上野の森バレエホリデイ2018〉での特別上演が好評を博し、金森の毎日芸術賞受賞にもつながりました。同時に発表する最新作は『Fratres I』。「Fratres(フラトレス)」とは、ラテン語で親族、兄弟、同士を意味しています。他者との関わりが希薄になりつつある現代社会のなかで、あえて同士を求め、集団での芸術活動を行うNoismが、今この作品を発表すること。それは、タイトルの意味するところを表現するためではなく、この創作と上演を通して、「その意味するところ」を“集団的に”見出すためです。これから始まる新たな時代に、我々は何を求め、見出していくのか。15年を経た今だからこそ上演するNoismの2作品です。

[私たちはNoismの活動を応援しています]

